

Zephyr

4

『アストロフェルとステラ』——演技する恋人・詩を書く恋人——

浅井紀代 (1)

拡大の構図と語り——『荒涼館』試論

石田美緒 (21)

父を求める子供たち——家族の分解の物語としての

『アブサロム、アブサロム!』——

金沢哲 (37)

1990年11月

京都大学大学院英文学研究会

会則

1. 本会は京都大学大学院英文学研究会と称する。
2. 本会は会員相互の学問的向上をはかることを目的とし、随時会合を持つ。
3. 本会は年一回、機関誌『Zephyr』を発行する。会員はそれに投稿する資格を有し、その頒布を受ける。
4. 本会は、京都大学大学院文学研究科英語学英米文学専攻在籍者有志、同出身者有志、同聴講生有志により構成される。
5. 4で定めるところの出身者有志は、特別会員になることもできる。
6. 会員及び特別会員は会費として年一定額を納める。その金額は会員間の話し合いにより決定する。
7. 責任者、会計係各一名、及び編集者若干名は会務を分担する。その任期は一年とし、選出は会員の互選による。

投稿規定

1. 投稿は英語学英米文学に関する未発表論文に限る。
2. 投稿申込締切は毎年3月10日とする。
3. 原稿締切は7月31日とする。
4. 投稿は原則として和文とする(引用は原文でも可)。分量は、本文と註を合わせ、400字詰原稿用紙40枚以内とする。

後記

『Zephyr』第4号をお届けいたします。今年は投稿者全員が博士課程1年次在籍者で、みな修士論文後の初仕事となりました。それぞれ、例年にない酷暑の下、さまざまに修論を意識しながら書き上げられた論文です。また、各投稿者にとっては外へ向かって論文を発表する最初の機会でもありました。当然ながら、そこここに気負いや生硬さなどさまざまに未熟な点が見られることと思います。諸先輩方からの忌憚のない御批判、御指導を期待しております。

再び発行が遅れてしまいましたことをお詫び申し上げます。また、今号から大学院在籍者の構成を考え、一部会則を変更しました。これからは投稿申込を3月までとし、毎年9月発行となります。

『QUEST』から数えて第4号を迎え、『Zephyr』もどうにか軌道に乗ったように思われます。この雑誌がさらに充実し発展していくことを期待し、また、諸先輩方にはこれからも御指導、御支援をよろしくお願い申し上げます。

(S.K)

Zephyr

第 4 号

1990年11月20日 発行

発行人 京都大学大学院英文学研究会
京都市左京区吉田本町
京都大学文学部英米文学研究室内

印刷所 京都市左京区田中門前町89
堀井印刷